



ごあいさつ

救護施設大野荘 施設長 貝川 久幸



社会福祉法人大野福祉会は、東側に日本百名山である荒島岳、西側には飯降山等四方を山々に囲まれ、さらに九頭竜川、真名川という二大川が流れる大変自然豊かな大野盆地の中にあります。そのため、夏は暑く冬は降雪も多く大変寒い土地柄でもあります。広報誌「雪やなぎ」は、こうした厳しい環境の中でも、春になると咲く花の名前が由来となっています。

令和8年がスタートしました。今年は「丙午の年」、陽や火を意味する「丙」と火の気が強まる「午」が重なる年、60年に一度めぐってくるそうです。前回は昭和41年であり、迷信から出生数が少なかったなどと、丙午にまつわることは諸説あるようですが、「物事がスムーズに進む」「勢いのある良い年」とも言われているようです。

さて、当施設の状況としては、現在利用者の平均年齢が71歳、女性に限れば74歳を超え高齢化が顕著に進んでおり、日常の介護支援業務は年々増えています。そのような中、昨年度の地域移行支援は居宅生活訓練等を通じ、3名の利用者の方がグループホームやアパートで新たな生活を始めることができました。

個別支援計画書の作成が制度化されて以降、各実施機関より援助方針をいただいておりますが、これまでの個別支援計画による支援が更に充実したものとなるように、地域移行など利用者お一人おひとりの意向を尊重した、自己実現が図れる支援となるよう取り組んでまいります。そのためにも、実施機関等と情報共有を図り、連携の強化を図ってまいります。

また、近年様々な災害に直面するリスクが増加しています。地震や豪雨等大きな災害が各地で起きており、幸い大野市の災害マップでは洪水想定区域外に当法人は立地しておりますが、想定外が起こるのが最近の傾向でもあります。

地域の方々や近隣の他施設を始めとする関係機関との連携強化、災害時避難の手順の確認や備蓄品の点検等、利用者、職員、そして地域の方々の命を守る取り組みや備えをこれまで以上に進め、何より日々の生活が安全で安心した生活となっているのか等、今一度足もとを見つめ直しながら支援に当たる必要があると考えています。

今後ともより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

むつみ園

敬老会・米寿



9月16日に長寿を祝う敬老会を開催しました。今年は一人が米寿を迎えられました。当日は橙のちゃんちゃんこをまとい、とても素敵な笑顔を見せてくれました。むつみ園最高齢ですが、普段からいつもお元気で、食欲旺盛、レクリエーションや創作などの活動にも意欲的に参加しています。職員一同、これからも元気で笑顔溢れる毎日を送っていただけるよう、心を込めてサポートしていきます。おめでとうございます。



むつみ園 クリスマス会



12月7日、むつみ園でクリスマス会を開催しました。例年とは違い、保護者の方、よもやま利用者、奥越明成高校のボランティアの方も参加しての開催になりました。

クリスマス会の始まりは昨年大好評だったピアノの演奏会を行いました。クリスマスソングを聴いたり、手遊びを楽しんだりしました。中には前に出てきてダンスを踊り出す利用者の方もいて大盛り上がり。懐かしの曲も演奏され、メロディーを口ずさむ方もいました。ピアノの演奏会終了後にはスライドショーを見て1年を振り返りました。又、サンタさんからのプレゼントもあり、皆さん嬉しそうな様子でした。

アトラクション終了後は3会場に分かれてのスイーツタイム。可愛らしいクリスマスケーキや焼き菓子を前に「おいしそう!」「これ可愛いわ〜」と大喜び。ボランティアの高校生に配膳してもらい、温かい飲み物を一緒に堪能しました。

短い時間でしたが、クリスマスの楽しいひと時を満喫しました。

大野荘

自治会バスドライブ



今年も自治会の新企画として、11月に「紅葉ドライブ&道の駅ツアー」を行いました。当日はお天気にも恵まれ、バスの車窓から九頭竜方面の美しく色づいた紅葉をみんまで眺めながら、目にも心にも癒しをもらいました。ドライブの途中には、グツドタイミングで越美北線が走る姿を見ることができ、紅葉を背景に列車を撮影する「撮り鉄」のカメラマンたちの姿にも遭遇しました。紅葉ドライブの後は、「道の駅 越前おおの 荒島の郷」に立ち寄り、お土産選びや喫茶タイムを満喫しました。自然豊かな大野の魅力を感じながら、ちよつとした旅行気分を味わうことができ、またひとつ思い出に残るイベントが出来ました。今後も利用者たちからの声を大切にしながら生活に少しでも楽しみが増えるよう、自治会活動をさらに充実していきたいと思えます。



むつみ園

一泊旅行

10月16、17日と北陸新幹線に乗って富山へ一泊旅行に出掛けました。何度見ても北陸新幹線は「カッコイイ！」と目を輝かせていました。富山では、ガラス美術館の見物や富岩運河環水公園で水上ラインに乗ったり、黒部宇奈月温泉までは富山地方鉄道のレトロな電車に揺られ、富山の美味しい食事もたくさん堪能して、思い出の写真もたくさん撮りました。帰りはさっそく

「来年は京都行きたい!」「来年は海鮮食べに行きたい!」と来年への期待も膨らんでいましたよ。



うぐいす会

希望外出

今年も利用者の方から希望外出の聞き取りを行いました。みなさんから「寿司、鉄板焼き、ハンバーグ、ラーメンが食べたい。」等、たくさん希望が上がる中、7コース（カラオケ、マシエリ、8番ラーメン、お好み焼き ひろの、はま寿司、出前、スイーツコース）を計画しました。それぞれ希望されたコースに参加し、美味しい食事をお腹いっぱい食べて、とても満足していました。外出が出来ない方や、食事制限があり、希望する飲食が出来ない方もいます。みんなが楽しめるよう、テイクアウト（出前）やスイーツを購入してなどの工夫も行っています。今後も皆さんの希望をできる限り取り入れ、楽しんでもらえるような自治会行事を開催していきたいです。



よもやま

よもやまの
慰労会



10月18日土曜日に大野市で行われていた「越前おおの産業と食彩フェア」に見学に出掛け、大野市の産業ブースを見学して歩きました。試食をしたり産業体験を行ったりと普段できないことを体験する事ができました。その後は自分たちのお小遣いで、フードブースで飲食などを楽しんだり、帰りには、道の駅・荒島の郷に行き、地元の特産物の販売を見学しミルク工房のお店のソフトクリームを全員で食べました。天候にもめぐまれ、山々も美しくとてもゆっくりとした時間を過ごすことができました。

飲料水の感謝
プレゼント

日頃より飲料水の仕入れ販売にご協力頂いている北陸コカ・コーラボトリング株式会社 奥越営業所様から飲料水2リットル30ケース(180本) 非常用の飲料水として大野福祉会へ寄贈していただきました。施設の災害時の飲料水として使わせていただきました。本当にありがとうございます。



グループ
ホーム

GH
日帰り旅行

今年のGHの旅行は、旅行会社の日帰りバスツアーを利用して、上高地へ行ってきました。バスツアーを利用するのは、初めてで、参加された利用者だけでなく、職員も旅行前からドキドキ。道の駅荒島の郷から満員のバスに揺られ、トンネルを抜けるたびに色づく山々に、「きれーい♪」との声がかかしこから上がりました。

上高地では、大正池から河童橋をみんなで歩き、綺麗な景色に感動し、サルにも遭う事ができました。帰りのバスでは、「来年はどこに行く?」「新幹線乗りたいな」との声が聞かれました。初めてのバスツアーに参加でき、楽しみの幅が広がった旅行になりました。



特集

理学療法士（PT）の活動について

施設における理学療法士（PT）の存在は、利用者の身体機能の維持・改善のみならず、生活の質（QOL）向上、介護負担の軽減、そして社会参加の促進に不可欠であり、機能訓練だけでなく、装具選定、介護職員への指導、多職種連携を通じて、利用者がその人らしく豊かに生活できるための個別支援の提供に専門家としてとても貴重な存在です。大野荘においては、平成12年より理学療法士等の有資格者へ業務委託し、機能回復訓練を実施してきました。これまで業務委託契約していた高畑PTを令和6年5月から理学療法士の

資格を有する支援員として採用し、毎週土曜日の週1回の限られた時間で実施していた機能回復訓練も、一人ひとりに充てられる時間が大幅に増え、これまで以上に機能維持・改善と利用者本人の意欲向上を感じています。また、大野荘の利用者だけでなく、必要に応じてむつみ園の利用者のリハビリも連携して行っています。法人として初めての取り組みになりますが、今後も支援業務と並行してリハビリ業務を充実させ、利用者の豊かな生活を目指す励みになっていくよう手厚い支援の提供を継続していきたいと思っています。

清水看護師
コメント

今では顔なじみになり、リハビリを心待ちにされている利用者も多く、スタッフ一同大変心強く感じています。

転倒防止をはじめ、姿勢の改善や福祉用具のご意見なども頂け、専門的な視点からの支援が可能となり、ケアの充実など期待しています。





第11回
アールブリュット展ふくい



近年、日本ではアール・ブリュットに対する関心が高まっているようです。時折、アール・ブリュット＝障害者による芸術と理解されてしまう事もあるようですが、既存の美術の枠にとらわれず、内なる衝動のままに表現する芸術を指し、純粹で力強い表現が特徴の作品です。

大野福祉会では今年もアール・ブリュット展に出品しています。大野荘から1点、むつみ園からは共同作品2点、個人作品3点、計6点。どの作品も、夢や希望、本人の思いがこめられた力作となっており、その中で大野荘の南山さんが勝山市長賞を受賞し、むつみ園創作班が大野市長賞を受賞しました。

カレンダー予定

※例年通りの行事予定を記載してありますが、感染症状況により変更の場合があります。

大野荘	むつみ園
父母の会総会	4月 バスドライブ 父母の会総会 保護者会総会
福祉ふれあいまつり 日帰り・一泊旅行 (6月～10月)	6月 福祉ふれあいまつり 日帰り・一泊旅行 (6月～10月)
大野市福祉スポーツ大会	7月 大野市福祉スポーツ大会 自治会七夕の会 バスドライブ
ふれあい夏まつり	8月 ふれあい夏まつり
福井しあわせパラスポーツデー	9月 福井しあわせパラスポーツデー 自治会希望外出 (9月～12月) 自治会敬老会

編集後記

雪やなぎ110号をご覧いただき誠にありがとうございます。今号はいかがでしたでしょうか？クリスマス会やバスドライブ、リハビリなど様々な活動を掲載しています。利用者の楽しい様子をお届けできれば幸いです。

自粛していた行事も少しずつですが再開し、行事に参加し楽しむ機会が増えるなど、施設内にも以前の活気が戻ってきたように感じます。記事編集の中でも、行事だけでなく日常生活の中でも利用者の素晴らしい一面や頑張っている姿なども改めて実感することができました。

掲載しきれなかった写真やエピソードもありますが、これからも沢山の笑顔をお届けできるよう、皆様に楽しんでいただける広報誌を目指して参ります。

救急救命研修会

11月21日の午後6時30分から大野福祉会の体育館にて、救急救命研修会を開催し、職員と近隣住民の方やグループホームの利用者の方も参加し、大野市消防署の方から、心臓マッサージからAEDを利用した救命訓練を行いました。研修後に大野福祉会の福祉避難所について説明をさせていただきました。もしもの時に慌てずに救命活動を行えるよう、今後も定期的に救急救命研修会を行いたいと思います。

